



# 東小だより

矢巾町立矢巾東小学校

令和5年7月24日

第7号

## 仙台・松島への修学旅行再開

6月14日、15日と6年生が仙10:26台・松島方面に修学旅行に行っていました。ここ3年、新型コロナウイルス感染症のため、県内で修学旅行を行っていましたが、感染状況が落ち着いてきたため、従来の形に戻したことになります。

今年の修学旅行では、震災遺構である荒浜小学校を見学しました。

東日本大震災から12年が経ち、6年生は全員、震災後に生まれた子どもたちです。大きな地震や津波について「自分事」として学び、考えることが難しくなってきました。それでも、あの災害を教訓とし、役立てていくために今後も学び続ける必要があります。

今回津波の被害の痕が残された実際の場所を見学することで、災害について「自分事」として考え、防災や減災についての子どもたちの意識を高めることができたのではないかと思います。旅行後にまとめられた新聞にも、荒浜小学校での学びについてふれたものが多く見られました。

子どもたちは他にも瑞巖寺や五大堂、仙台うみの杜水族館、八木山ベニーランドで学習や体験を行い、たくさんの思い出を作っていました。そして、集団で行動する楽しさやその楽しさを支えるルールやマナーの大切さ等、たくさんのことを学びました。6年生のこれからのますますの活躍がとても楽しみです。



## プールでの学習 無事終了

7月21日（金）に4年生の着衣水泳の学習で今年度のプール学習が終了しました。

6月5日（月）に5・6年生でプール清掃を行い、気持ちよくこれまでプール学習してきました。子どもたちはそれぞれがきめためあてに向かい、自分を高めるためにがんばってきました。

プールでの学習の仕上げは、6年生（7/20）と4年生（7/21）が行った「着衣水泳」の学習でした。



誤って川や海に落ちたり、足のつかないところに行ってしまったとき、命を守るために

**「無理に泳がず、救助を待つこと」**

が大切であることを学びました。

もうすぐ夏休み、楽しい計画が立てられていることでしょう。計画の際には、海や川の危険性についても確認し、安心してたくさんの楽しい思い出を作りたいと思います。よろしくお願いたします。

